

事務事業名		文化財保護・保存管理事業		目標設定日	令和2年3月1日
				部・局	教育委員会事務局
総合計画体系	基本政策	4	ふるさとを学び育つ文化のまちづくり	課・室	生涯学習課
	政策	03	地域の歴史・文化の保存と活用	係	文化財係
	施策	01	文化財の保護・保存・活用	内線電話	424
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	10款	教育費	計上	
	項	4項	社会教育費	実施期間	
	目	2目	文化財保護費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	市民	意図（どのような状態にしたいのか）	文化財を保護・保存管理し、公開や情報提供を行うことで、中野市の歴史、文化、自然を知り、文化財に対する意識の向上を図る。
	現状・課題	文化財を適切に保存・管理等する必要性が高まっているため、費用が増大している。また、社会教育・学校教育との連携により、文化財の啓発・活用を推進する必要がある。		
市が行う理由及びその根拠	義務的自治事務	文化財保護法、文化財保護条例（県）、中野市文化財保護条例		
事務事業概要	文化財の指定、保存・管理、啓発・活用の各種事務を行う。			
令和2年度の活動指標アウトプット	活動内容		活動量	
	中野市文化財保護審議会の開催		2回	
	中野市文化財管理公開等謝礼金支給事務		1回	
	（仮称）山田家資料館整備工事設計監理業務委託		一式	
	（仮称）山田家資料館整備工事		一式	
（仮称）山田家資料館特別展示の開催		2回		

事務インパクト	項目		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	R2は予算額	当初予算	円		22,320,000	12,645,000
補正・流用等		円		94,000	0	—
合計		円		22,414,000	12,645,000	22,072,000
決算（見込）額 A			円	21,016,938	12,645,000	—
R2は予算額	財源内訳	国庫支出金	円	0	0	0
		県支出金	円	0	0	0
		市債	円	12,200,000	2,000,000	11,900,000
		その他特定財源	円	0	0	0
一般財源		円		8,816,938	10,645,000	10,172,000
正規職員数		人		0.89	2.08	2.08
人件費 B		円		5,726,260	13,399,360	13,399,360
総事業費 A+B		円		26,743,198	26,044,360	35,471,360
市民1人当たりコスト		円		625	612	837

成果指標	アウトカム	方向		平成30年度	令和元年度	令和2年度
指定又は登録文化財件数（文化財保護件数）		累計	目標	75 件	78 件	79 件
			成果	77 件	78 件	—
（仮称）山田家資料館特別展示の来館者数		増加	目標	— 人	— 人	350 人
			成果	492 人	319 人	—
成果指標と目標値を設定した理由	指定又は登録された文化財を保存・管理し、活用することで、市民が中野市の伝統や特徴を学び、地域への誇りを持つ意識を向上させるため。					

令和2年度の実施方針	例年どおり実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	文化財の指定、保存・管理、啓発・活用の各種事務を実施する。また、（仮称）山田家資料館の一般公開に向け、起債を活用し整備工事を実施する。						

